

日本学術会議社会学委員会 Web 調査の課題に関する検討分科会

(第 25 期・第 1 回)

議事要旨

開催日時：2020年12月26日(土) 13:00～15:00

開催場所：Zoom

出席者：佐藤嘉倫、吉川徹、今井高俊、石井クンツ昌子、遠藤薫、盛山和夫、玉野和志、

筒井淳也、村上あかね、大谷信介、瀧川裕貴、埴渕知哉

1. 自己紹介
2. 委員長・副委員長・幹事選任
委員長：佐藤嘉倫 副委員長：吉川徹 幹事：今田高俊、石井クンツ昌子
3. 特任連携会員・オブザーバーの承認
特任連携会員：瀧川裕貴 オブザーバー：埴渕知哉
4. 前期(第24期)の活動方針
佐藤委員長より、前期の本分科会の活動についての説明があった。
5. 情報提供
瀧川オブザーバーからモバイルデータに関する情報、埴渕オブザーバーから地理情報を組み合わせた研究の情報の提供があった。
6. 第25期の活動へ向けての意見交換
今期の活動の内容についての意見交換を行った。議論の主な内容は以下の通り。
 - ① 他の分野との関連で方向性を出すのかなど、具体的にこの分科会でどのような方向で進めていくのかの方針を固めていくほうが良い。
 - ② 前期で発出した Web 調査の長所を踏まえて、今後は行動的なビッグデータと紐付けられるのかの検討が重要であろう。
 - ③ 学術研究を盛んにするための理論と学術研究をどのように社会に還元できるのかを検討して、実社会へ還元することが重要である。
 - ④ 自治体で実施している調査の動向を把握する必要もあるだろう。
 - ⑤ Web 調査の問題点についても更に追求していった方が良い。

7. その他

- ① 学術会議から要請があった今期の分科会等の活動について検討した。
- ② 社会統計調査アーカイブ分科会との合体等や同時開催について話し合いを持った。

8. 次回の委員会

本分科会の今期の課題について更に検討をする。

以上